



令和6年度 10月号

# 矢中だより

大田区立矢口中学校

HP アドレス <https://www.ota-school.ed.jp/yaguchi-js>

## 過ごしやすい季節「読書」をしませんか

校長 鈴木 孝洋

矢中祭発表部門に向けて、校内では合唱の練習が本格的に始まりました。皆さんの努力が歌声にのって届いてきます。それぞれのクラスでよい合唱にするために大変なこともあると思いますが、一つ一つ乗り越え、クラスの団結を深めていくことを期待しています。

過ごしやすい季節になったので、今回は読書についておすすめしたいと思います。10月27日から11月9日までの2週間にわたり、読書を推進する行事として読書週間の期間が設けられています。読書週間の前身である「図書週間」が約100年前の1923年に発生した関東大震災の翌年にスタートし、戦時下の中断を経て、1947年から現在の「読書週間」が始まりました。大震災と戦災という、未曾有の危機の直後にこうした運動が開始されたことに、読書に大きな力があると考えの人がたくさんいたことがうかがわれます。現在のデジタル化による急激な環境変化、予測困難な時代を生きていく皆さんにとっても、読書は大きな力となるのではないのでしょうか。本に親しむことを通じて豊かな知識を身に付け、それを活用して生涯にわたって長寿社会を主体的に生きていく素地を作っていくってほしいと思います。

さて、読書量の現状に目を向けると、大人も子どもも個人差が大きいと感じます。そして読書をする場合でも、紙の書籍の他、電子書籍やオーディオブックなど様々な選択があります。それぞれの方法に、メリットとデメリットがありますが、今回は、紙の書籍、図書館の利用をおすすめしたいと思います。

おすすめしたい理由の一点目は、目指す書籍や情報を実際に自分の手に取って、納得がいくまで確認できることです。インターネット上の情報は、掲載者の意図によって操作されている場合があります。そこを十分に吟味して判断することができればインターネットはとても便利なものですが、その吟味が難しいことがあります。紙の書籍の場合は情報の出典を常に確認できるのが強みです。

二点目は、図書館では予想外の本との出会いが得やすいということです。実際に開架書架を巡ってみると、目指している情報の周辺に存在する関連情報にも出会うことができます。また、目指していた情報とはまったく異なるジャンルの新しい領域に関心を広げる機会にもなります。中学生に育みたいことは、視野を広くもつことではないのでしょうか。そのことが、将来実現したい夢につながったり、職業観を広げたりすることにもつながると考えます。

秋の夜長、「読書の秋」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 矢中生の活躍

### 下丸子ふれあいフェスティバル



○ポスター（美術部協力）掲示板とのぼり



○吹奏楽部によるマーチングと  
下丸子天祖神社前での演奏（吹奏楽部）



○朝の打合せ（ボランティアの生徒）



○ゲームコーナーでの  
ボランティア

スクールサポート矢中  
（学校支援地域本部）の  
方にも大変お世話に  
なりました。ありがとう  
ございました。

## 表彰

（敬称略）

### ソフトテニス部

○令和6年度大田区中学校新人大会  
女子団体 第3位



### 区ダンス部

○第12回全日本小中学生ダンスコンクール東日本大会  
中学生部門 学校参加の部 金賞 O.T.A W I G S

### 歯と口の健康週間

○デンタルフェスタ2024  
ポスターの部入選

